

矢巾スマートインターチェンジの整備効果の検証と利用促進について

平成30年3月に供用開始した矢巾スマートインターチェンジの令和4年の利用状況及び整備効果と今後の利用促進について、お知らせします。

◆ 矢巾スマートICの利用状況について

- 令和4年の1日平均の利用台数は、約3,100台のご利用をいただいています。
- 令和5年5月には、供用開始からの累計利用台数が500万台を突破しました。矢巾スマートICは、年間100万台を超える利用台数となっております。

◆ 矢巾スマートICの整備効果について

- ①居住者・来訪者の利便性向上による交流人口の拡大
矢巾町中心部からのアクセス性向上により利便性が向上し、利用回数も向上しています。
- ②物流の効率化による企業誘致の促進及び地域産業の活性化
岩手流通センターに至近する位置に東北エリア最大級の物流拠点が令和5年11月に竣工し、利用台数の増加と地域産業の活性化が見込めます。
- ③救急医療機関へのアクセス性向上による救命率の向上
岩手医科大学附属病院へのアクセス性向上に伴い、救急医療提供を求める患者の搬送時間が県南からは約5分、県北からは約6分短縮され救命率向上が図られたものと推察されます。

◆ 矢巾スマートICの誤進入対策について

矢巾スマートICは、上下線の出入口が異なっていることから誤進入する車両があります。そこで矢巾町では、誤進入車両の抑制を目的に町広報やホームページでの呼びかけ、関係機関と連携した案内看板の充実、誤進入車両のUターンスペースの確保等の対策を講じています。また、令和5年12月に誤進入対策として、案内看板を設置しました。設置後の誤進入台数については多少ではありますが減少したことから、引き続き効果の確認を行っていきます。

今後もPDCAサイクルにより、継続的にフォローアップしてまいります。

お問合せ先 矢巾スマートインターチェンジ地区協議会事務局（道路住宅課内）
電話 019-611-2632 E-mail douro@town.yahaba.iwate.jp